

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
高齡者支援課長	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>それではこれより高齡者福祉審議会を始めさせていただきます。会議に先立ちまして、春名会長よりご挨拶をいただきます。</p>
春名会長	<p>(あいさつ)</p>
高齡者支援課長	<p>ありがとうございました。続きまして杉島市長よりご挨拶を申し上げます。</p>
杉島市長	<p>(あいさつ)</p>
高齡者支援課長	<p>令和5年度、第1回の審議会となりますので、議題の4に入ります前に、各委員の皆様、一言ずつご挨拶を頂戴したいと思います。名簿の順に一言ご挨拶をお願いいたします。</p> <p>(各委員あいさつ)</p>
高齡者支援課長	<p>ありがとうございました。それでは、職員の方も4月の人事異動により、移動がありましたので、改めて事務局並びに関係職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>(福祉部、健康推進部職員あいさつ)</p>
高齡者支援課長	<p>続きまして杉島市長より「入間市第10次高齡者保健福祉計画、第9期介護保険事業計画の策定について」、当審議会に諮問させていただきます。杉島市長よろしく願いいたします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p style="text-align: center;">～杉島市長から諮問～ ～春名会長諮問書を受理～ ～各委員に、諮問書の写しを配布～ ～杉島市長退席～</p>
高齢者支援課長	<p>これから議題に入りますが、高齢者福祉審議会条例第8条の規定で会長は会議の議長となる旨が規定されていますので、春名会長に以後の会議の進行をお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは議長を務めさせていただきます。委員の皆様には、会議がスムーズに運営されますようご協力をお願いいたします。現在の出席委員は10名です。よって、高齢者福祉審議会条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、本日の会議は成立いたします。また、本日の会議の傍聴については、ホームページで周知したところ、希望はありませんでした。</p> <p>次に、本日の会議録の署名をいただく委員を指名させていただきます。</p> <p>瀧澤委員お願いいたします。</p>
瀧澤委員	<p>はい、わかりました。よろしく申し上げます。</p>
議長	<p>それでは、早速議題に入らせていただきます。市長より諮問を受けましたので、入間市第10次高齢者保健福祉計画、第9期介護保険事業計画の策定について議題とさせていただきます。1点目として年間スケジュールについて、2点目として策定部会の設置について、3点目として、日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査結果について、4点目としてその他であります。順次事務局から説明をいただき、ご質問等い</p>

発 言 者	発 言 内 容
高齢者支援課主幹	<p>ただく形で進めていきたいと思ひます。それでは1点目、年間スケジュールについて、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>資料1（策定スケジュール）に沿って説明する</p>
議長	<p>ただいま事務局から年間スケジュールについての説明がありました。ご質問等がございましたら、挙手をお願いいたします。</p> <p>ご質問等ないようですので、事務局提案のとおりとします。</p> <p>次に策定部会の設置についての説明をお願いいたします。</p>
高齢者支援課主幹	<p>入間市高齢者福祉審議会条例及び資料2に沿って説明する</p>
議長	<p>ただいま事務局から策定部会の設置についての説明がありました。部会委員として、私も入れさせていただきたいと思ひますので、他に5名の方をお願いしたいと思ひます。審議会条例第6条第2項では、部会に属せる委員は、会長が指名すると規定されておりますが、積極的に立候補される委員の方は恐縮でございますが、挙手をお願いいたします。</p> <p>川名委員と原田委員から挙手がございました。ほかにございませんか。</p> <p>それでは、あと3名は私の方で指名させていただきます。中林委員、小池委員、東委員以上3名を指名させていただきます。よろしくお願ひします。</p> <p>事務局よろしいですか。</p>
高齢者支援課主幹	<p>よろしくお願ひいたします。</p>
議長	<p>策定部会は大変な作業となると思ひます。また、夜間になりますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高齢者支援課主幹	<p>次に日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査結果についての説明をお願いいたします。</p> <p>結果報告書の内容については、本調査の業務を昨年度請け負っていただきました株式会社名豊よりご報告をさせていただきたいと思います。また、同社には引き続き、今年度の策定業務に係る支援も行っていただくこととなっておりますので、今後も会議に出席をいただく予定になっております。皆様ご承知おきをさせていただきたいと思います。</p>
株式会社名豊	<p>資料3（ニーズ調査報告書）に沿って説明する。</p>
議長	<p>ただ今、日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査について説明がありました。まず、私の方から感想等を述べたいと思います。</p> <p>タイプ別の分類とか、4種類の内向、外向、インドア派、アウトドア派とか、フレイルなどを考えると非常に面白いクロス集計だと思います。</p> <p>それから、84 ページ以降の幸福度別というのも非常にユニークなクロス集計だと思います。まだ、全て読み込めてはいるわけではなく、一応数字だけ見たというような状況ではあるが、なかなか面白い分析が色々あるというふうに思いました。</p> <p>それから8ページの在宅介護実態調査、皆さんご存じだと思いますが、主な介護者についての課題と方向性のところに「レスパイト」と出ています。これを調べたところ、介護者の小休止、ひと休み、そういった意味でありました。</p> <p>先ほど申し上げたように、クロス集計が非常に面白いので、読み込んだらもっといろんなことも出てくるかなとは思っています。私の意見、感想は以上です。</p> <p>ほか何かご意見とか聞いておきたいこととかありましたら、挙手で</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>願います。</p>
<p>瀧澤委員</p>	<p>今説明いただいて大変わかりやすくてよかったですと思います。今回のアンケートは、前回のアンケートと比べて大変わかりやすいなと思ったのですが、調査した会社は同じですか。</p>
<p>高齢者支援課主幹</p>	<p>今回の調査は、前回の調査をしていただいた会社とは別の会社です。</p>
<p>瀧澤委員</p>	<p>わかりました。大変よくできていますので、今後も期待しております。</p>
<p>議長</p>	<p>他にご意見はございますか。</p>
<p>川名委員</p>	<p>この調査を私たちは共有しておりますが、一般の市民の皆さんには見ていただけるチャンスがあるのか、また、ダイジェスト版等で見ていただけるチャンスを作るというような考えはありますか。</p> <p>また、ダイジェスト版等で良いので、こういったことを例えば、若い年代の高校生とか中学生たちに、何か学習の機会を設けていただけると良いと思う。お家におじいちゃん、おばあちゃんがない家庭もあるし、一緒に暮らしてらっしゃる方もあるし、施設等でおじいちゃんたちが暮らしているお家もあるかと思しますので、チャンスがあれば、このアンケート調査では、入間市の高齢者の皆さんはこういう状況なんだよとか、そういうことを学習する機会が、年間を通じて、1時間でも2時間でもあるといいのかなと思います。以上です。</p>
<p>議長</p>	<p>学習する機会をとというのはいいですね。他、何かございますか。</p>
<p>高齢者支援課主幹</p>	<p>ご質問のあった市民の方に公表する機会があるのかということなんです</p>

発 言 者	発 言 内 容
原田委員	<p>が、内容に関して公表できないものではないので、公表することは全く問題ないと考えております。ダイジェスト版等の作成については、請負業者とも、相談させていただいて、可能であれば、そのようなものを作成して、皆さんの目に触れるような機会を設けたいと思っております。以上です。</p> <p>今期の計画のアンケート調査との比較の中で、特別に変わったことなどはあるでしょうか。それと、もう1点、7次の計画のとの推移ですね。ちょうどその時期ですと原発の事故があっって、介護に必要なもの、医療に必要なものに対するニーズがだいぶ変わったと思います。7次からの計画書をこの1週間継続して見ていた範囲の中での感想ですが、いずれにしても認識が変わっていて、求める医療介護の問題について、国なり行政がやるべき課題がだいぶ変わってきているなど、私自身思っています。</p> <p>そういうものは、例えば今分析会社の方でそういうことを踏まえて、経年で考察を入れて、新たなインドア、アウトドアというような評価基準を設けながら分析したとか、何か特徴点があれば、ご説明していただくことはできますか。委員会においても今後の計画設定の中で反映していきたいと思っています。</p>
株式会社名豊	<p>直近の比較、前回と今回の比較は行っておりません。今後、市からデータをいただきながら、まとめていきたいと思っています。</p>
原田委員	<p>わかりました。いずれにしても今後、設定委員会の中で自分なりの考え方も含めて、お話しさせてもらえればと思っています。以上です。</p>
高齢者支援課主幹	<p>今回の調査は、先ほど、瀧澤委員の質問にもありましたが、調査会社が変わっています。この中の調査結果の中でインドア派、アウトドア派</p>

発 言 者	発 言 内 容
小池委員	<p>というのは、今回が初めて実施したクロス集計ということになっております。ただ、経年の推移を見ているかどうかというところは、調査業務の仕様になかったことですので、それは今後この調査結果と過去の調査結果や、計画等見比べながら今年度の策定の中で考えていきたいなと思っております。以上でございます。</p> <p>先ほど、会長もおっしゃった84ページのどの程度幸せですかというグラフを見た時に、5点以上がこんなにたくさんあるというのは見ただけでもウキウキするような幸せを感じているのだなというのが感想としてよかったなと思いました。</p> <p>次は質問なのですが、22 ページで「介助が必要になった主な原因は何ですか。」というのがあるのですが、介護保険の方の認定審査会もさせていただいているのですが、そこで骨粗鬆症の腰椎圧迫骨折というのがすごく多いのですが、そのようなものはこの骨折転倒になりますか。</p>
高齢者支援課主幹	はい。
小池委員	わかりました。それから脊柱管狭窄症もすごく多くて、これは脊柱損傷ですか。
高齢者支援課主幹	質問を答える側に対して、そこまで細かくは聞いておりません。
小池委員	<p>その他というの何かわからないですか。</p> <p>その他が19.5パーセントあるので、どんなことが考えられますか。もし、わかればお願いします。</p>
高齢者支援課主幹	その他については、本日、用意ができてないのですが、データとしては、株式会社名豊さん方にはありますので、その他については違う形

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>でまとめてお示しをさせていただきたいと思います。</p> <p>データの方については、またお知らせいただければありがたいと思います。</p>
木村委員	<p>根本的な質問ですが、有効回答率が介護予防日常生活圏域ニーズ調査については、71.1パーセントで、これはすごく高いなと思いましたが、在宅介護実態調査の方は48.7パーセントで、過半数を割っています。これでも有効回答率として成立するということになるのでしょうか。</p>
高齢者支援課主幹	<p>この調査にあたり、1つの指標として1500通を発送した場合、600通の回答が得られるとアンケートとしては有効な返信数と考えられていますので、パーセントで見ると50パーセントを割っていますが、調査の回答率としては十分満たしていると考えております。</p>
木村委員	<p>日常生活圏域ニーズ調査の方は本人ということですね。当事者がお答えしているということですね。あと、在宅介護実態調査の方は、介護をされている方が、答えているというふうに捉えてよろしいのでしょうか。</p>
高齢者支援課主幹	<p>はい、そうです。</p>
木村委員	<p>そうなると、二つの調査でこれだけの差が出るというのは、その要因がどこにあるのか知りたいのですが。</p>
高齢者支援課主幹	<p>調査票が到達した人を、どういう状況かというのは調べるのは難しいのですが、推測としては介護をしている方というのが、高齢者の配偶者の場合もあると思われれます。そうすると、なかなか調査票を埋め</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ていくのが難しいということで、窓口に来て聞きながら書くというような方もいらっしゃいました。おそらくそういう方で、家でなかなか調査票を記入することが難しい方が、こちらの在宅介護実態調査の方では多いのかなというような推測をしています。</p>
木村委員	<p>はい、ありがとうございます。私自身もこれを書いた記憶があるので、大変な状況にある方もいらっしゃるのかなとも思うのですが、ぜひ、そういう方の声を取りこぼさないようにしていただきたいなというのが私の思いです。</p>
議長	<p>在宅介護実態調査は郵送とのことでなかなか難しいとは思いますが。私もこういう調査はやったことがあります。訪問で行くとまだ違いますけど、やはり郵送で、在宅の介護の実態の調査というのは、回答率というのは、やっぱり若干低くなると思いますので、私はこの程度かなと理解しています。当然ケースバイケースによって全然違うとは思いますが。</p>
川名委員	<p>今の木村委員に続けてなのですが、私も直接元気な高齢者の皆さんに入間市全体でお会いする機会があるので言いますが、こういうアンケート調査を行った場合に、特に介護の調査の場合は、これにプラス調査はしなくてもいいですが、直接現場で携わっている包括の皆さんとか、ケアマネの皆さんが恐らく1番その場面に遭遇していて、「今こういう状況だね」という、包括の方とお会いするとそういう話がすごく出ます。ですので、コメントとして、「現場はこのような状況です」というようなことも参考資料として、こういった調査の時に、特にあの介護の方にはつけていただけると、審議員の立場も色々ありますので、また、職員の方たちも、現場の声というのはすごく大切だと思いますので、今後直接その方たちと対応している方たち、お医者様も含めて入れていただけるとよりわかるかなというふうに思いました。どうぞ、よろ</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>しくお願いいたします。</p> <p>はい、ご意見ありがとうございます。他、何かございますか。</p>
中林委員	<p>皆さんの意見と同感なものがいっぱいありました。</p> <p>このような調査結果を、民生委員の活動でも利用できないか、ダイジェスト版という話も出ていましたけど、小さなものでもいいですし、薄っぺらなもので大きな字で書いてあって、ポイントだけはこういうことをやっていますというようなもので、良いところをそういう人たちに見せてあげたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございました、他はございますか。はい。</p>
松下委員	<p>読ませていただいて、3 ページに考察というところがあります。そこに、下の方に経済的に大変苦しいと感じている方が31.4パーセント。ところが83～84 ページを見ますと84 ページでは幸福度が8点以上の方が約5割います。その左側の83 ページを見ますと、「健康でまあ良い」「とても良い」というものだけで80パーセントになる。こういうのを見た時に、この「幸せですよ。」というのは何を思い「幸せですよ。」と回答しているのかなと感じました。ですから色々な面でこういう回答が出てくると、「幸せです。」と言いながら、金銭の方では「大変苦しいです。」という、そういうところを捉えていくというのがアンケートの中で出た結果ですけども、大切だなというふうに感じております。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございました、何かございますか。</p> <p>他何かございますか。ないようですので、次にその他を議題としたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高齢者支援課主幹	<p>事務局から計画策定に関係することで、何かありましたらお願いいたします。</p> <p>ニーズ調査の方でも市独自の質問ということで、やまゆり荘の質問を入れさせていただきましたが、やまゆり荘を利用していない若者世代に対するアンケートの実施についても審議会の方で了承いただいて、実施をさせていただきました。その調査の結果の報告をさせていただきたいと思います。</p>
議長	<p>資料4（やまゆり荘に関するアンケート調査結果）に沿って説明</p> <p>はい、ありがとうございます。ただ今事務局からやまゆり荘に関するアンケート調査の結果報告について説明をいただきました。</p> <p>何か質問等ございますか。</p>
原田委員	<p>ちょっと初歩的な質問なのですが、ちょっと論議が違うかもわかりませんが、地区センター化に伴ってのやまゆり荘内の包括支援センターについての動きはどうなりますか。</p> <p>それとアンケートをして、どういう方向に持っていきたいか、ちょっと曖昧だと思います。色々結果については、もう前から存じています。私も利用したことが何回もありますので、そんな関係から一定の方向性を早めに出した方が私はいいと思います。</p> <p>ですから、包括支援センターの関係だけ回答していただけますか。</p>
高齢者支援課主幹	<p>やまゆり荘の中にありました包括支援センターは、もう宮寺の地区センターの方に移転が済んでおります。</p>
原田委員	<p>もうスムーズに動き出しているというふうに認識でよろしいですか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高齢者支援課主幹	はい。
原田委員	わかりました。アンケート結果を基に道筋をきめてもらいたい。
高齢者支援課主幹	<p>今後の利用検討において、施設利用について幅広く検討するという方針がありまして、幅広くという部分でアンケートを取らせていただきました。市の方では、施設利用検討プロジェクトチームというものを立ち上げており、その中でアンケートの結果を基に方向性を検討しているところです。</p>
東委員	<p>大変、恥ずかしい質問ですが、やまゆり荘とはどのような施設ですか。事前にいただいた資料を拝見していて、私、今回の計画の流れを理解できていないのですが、やまゆり荘がこれだけクローズアップされている理由というのは、この計画の中で何かあるのですか。</p>
高齢者支援課主幹	<p>やまゆり荘というのは老人福祉センターのことであり、その名称がやまゆり荘といいます。なぜ今アンケートを取ったりしているかと言いますと令和3年度に入間市の公開事業仕分けというのがありまして、その中で老人福祉センターの施設利用について、見直しを検討するという市民の方からの判定をいただきまして、市としては、今後施設利用について、廃止を含めて幅広く検討するというような方針になりました。その方針に基づいて、やまゆり荘の今後の施設利用について、市の中で色々どうしていこうかというのを検討している状況です。その検討の材料の1つとして、ニーズ調査の方に問10のその他のところで、市独自の質問というものを設定できることになっていましたので、そこにやまゆり荘という部分を1つ入れさせてもらいました。そこでは、やまゆり荘を利用する方々を対象としております。やまゆり荘というのは、60歳以上の方が利用する施設になっていますので、ニーズ調査等の対象者と重</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>なるところもありましたので、その他の質問に加えさせていただきました。それに合わせて利用していない世代の方にも、聞いてみたいというところが市の中でありまして、ニーズ調査とは別に高齢者支援課の方で、30歳から59歳の方を対象にした調査が、この資料4ということでございます。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは次に、(2)その他を議題といたします。計画策定以外について何かありましたら、事務局より説明をお願いいたします。</p>
高齢者支援課主幹	<p>高齢者福祉審議会に対して、危機管理課の方から入間市防災会議委員の推薦依頼がありました。現委員は高山委員であり、こちらは、昨年度寺田委員が退任される関係で、寺田委員の任期中を高山委員に引き継いでいただいておりますが、ここで任期が切れまして、改めて推薦の依頼が来ものです。本日、高山委員は欠席ですが、事前に事務局において、高山委員に防災会議委員を引き続き引き受けていただけるか確認をさせていただいたところ、快諾していただきましたので皆さんにその旨ご承知をいただきたく、ご報告させていただきます。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。他にございますか。</p> <p>それではないようですので、以上で、本日の議事は全て終了しましたので、議長の座を降ろさせてさせていただきます。</p> <p>皆様、どうもありがとうございました。</p>
高齢者支援課長	<p>春名会長ありがとうございました。</p> <p>次回の審査会につきましては開催が近づきましたら、改めてご通知を申し上げます。最後に中林副会長より、閉会のご挨拶をお願いいたします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
中林副会長	<p>これを持ちまして、令和5年度第1回入間市高齢者福祉審議会を終了とさせていただきます。皆様ご苦労様でした。</p>
高齢者支援課長	<p>次回も引き続きよろしくお願いたします。皆様大変お疲れ様でした。ありがとうございました。</p> <p>～令和5年度第1回高齢者福祉審議会 終了～</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

2023年6月23日

議 長 の 署 名 春 名 恭 一

議長が指名した者の署名 瀧 澤 啓 次